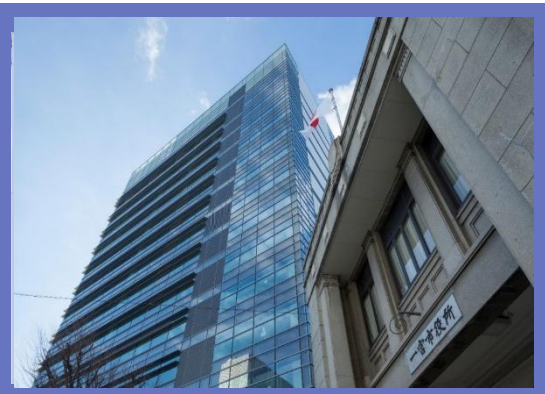
榊原建設株式会社（建設業）

Do Our Best!

榊原建設



一宮市役所庁舎(2014年竣工)

〇本社所在地：・・・愛知県一宮市
〇事業概要：・・・総合建設業(建築・土木工事一式)、設計監理業(設計・施工監理)、宅地建物取引業(不動産売買仲介)

〇常時使用する従業員：46名
（2024年9月期）
〇現在の売上高： 41億円（2024年9月期）
〇法人番号：1180001082705
〇Web：https://www.sakakibara-cons.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ

代表取締役社長
榊原　譲

築いてきた100年、これからも地域社会の発展に貢献します

榊原建設は大正10年の創業以来100年以上、愛知県下を主として官公庁工事、民間工事の建築工事請負に従事して参りました。一宮市内では、警察署、税務署、市立小中高等学校など数多くの建築物を施工させていただきました。次の100年に向けてこれからも誠意・創意・熱意を持って、歴史と伝統のもと築かれた信用・信頼・技術を大切にし、社業の発展・社員の幸福を通じて地域社会に貢献して参ります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

今期2025年9月期の売上は70億程度を予測しています。2035年の売上高100億円達成に向け、DX化による生産性の向上、デジタル技術の促進、BIMの推進をし、年率4%程度の成長を目指します。

課題

・人材不足：若手人材争奪化、施工管理職のイメージが悪く若者の就業希望が少ない。
・働き方改革：長時間労働の解消、完全週休二日制だが工期は順守しなければならない。
・労働災害リスク：安全第一で取り組むが予測し難い事故も起こる可能性がある。
・官庁工事の減少：国や市、県の仕事が減っていく可能性がある。
・資材・人件費高騰：予測不能な高騰などで自社に被害が及ぶ可能性がある。
・デジタル化の遅れ：BIMやVR、ICTを進めたくても費用が高い。書類が多い。
・環境への対応：工事において求められるがコストとの両立が難しい。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

①既存事業の不動産事業・設計事業を強化します。
②建築工事のみならず土木など新規分野の受注を可能にします。
③デジタル技術の活用により、生産性の向上（BIM、VR技術を採用）を目指します。
④これら事業を一元管理するための新社屋を建設し、業界のDX・GXを担う拠点を設け、時代に先駆けた地域№１企業を目指します。

実施体制

・不動産：土地や物件に積極的に投資し、売買、賃貸、仲介を行う。
・設計：新たな設計士の積極採用、パース作成できる人の採用。
・新規分野：M＆Aなどにより既存業者を取り込み土木工事などを含め新たな分野に参入する。
・BIM・VR：最新のBIM、VRシステムを導入し、新しいデジタル技術を利用する。BIMセンターを設立し、社内にてデジタル技術を一括管理する。
・新社屋：社員数拡大に向け、フリーアドレスのオフィスを採用。またBIMセンターを設立し、社内の別フロアに部屋を設けることで最新のデジタル技術を利用できるようにする。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです